

2017-18 年度国際ロータリー第 2820 地区

青少年奉仕研究会—参加報告—

奉仕プロジェクト委員会 山口洋一

日時 平成 29 年 7 月 15 日（土）10：30～15：35

場所 三の丸ホテル（水戸市）

主催 青少年奉仕委員会

◆10：00 受付、10：30 開会で、保延ガバナーの点鐘によりセレモニーがスタートしました。保延ガバナーから四つの青少年研究会プログラム（インターアクト／ローターアクト／RYLA／青少年交換）について、その重要性が強調された。

◆続くガバナーエレクトの高橋様よりガバナーエレクトとしてのご挨拶を頂き、公共イメージの向上／ロータリー活動の認知度を高める／各委員会プログラムの良き理解、等々が強調され、協力要請があった。セレモニーに続く講演、各委員会プログラムによるセッション（インターアクト委員会／ローターアクト委員会／青少年ならびにライラ委員会／青少年交換委員会）が事例発表と言う形で行われた。

◆最後に、クラブ事例発表として下館ロータリークラブ／水戸西ロータリークラブ／つくば学園ロータリークラブの 3 クラブから具体的な報告がなされ、閉会のセレモニーで総評を倉沢青少年奉仕カウンセラー／所感を清水青少年奉仕支援アドバイザーより頂き、保延ガバナーの点鐘で幕を閉じました。



保延ガバナー



会場風景



倉沢カウンセラー



発表風景



交換留学生待機風景

【雑感】水戸三の丸は水戸の駅に近く参加者として安堵しました。いつもは車に同乗させてもらうのですが、今日は一人参加、電車にしました。1時間と見ましたが少しオーバーでした。倉沢カウンセラーも

強調されていましたが、今日の研修会の前半は静か（活気がないと解釈）だったが、後半はとても活発でこれぞロータリー活動、と感激された様子を伺いました。同感です。私は、今回の青少年奉仕研究会では、女性会員並びに高校で指導なさる先生方の姿に感動しました。しかし、前段のセレモニーは、「ロータリーとは何か」をそれぞれの立場で語って頂く場なのではないでしょうか。ここにも熱気が欲しいものです。慣性の法則は、創立当初の姿に思いをいたして。私もとても勉強が足りません。教材はいっぱいあるのですが。

以上